

皇室へ静岡牧之原茶を献上

献上茶栽培に携わった指定園主



この度、当茶園が献上茶奉納指定を賜りましたこと、大変名誉なことと存じ上げます。

献上茶園にご指定いただいてからは、従業員と家族一丸となって取り組み、新たな節目を迎えることができました。

ご指導・ご協力をいただいた、ハイナン農協、農協青壮年部の皆さま、各関係機関の皆さまに深く感謝申し上げますとともに、今後もおいしい上質なお茶づくりを追求し、茶業の発展に尽力していきます。



この度、献上茶謹製事業、牧之原市の大茶園の中から指定茶園に選定していただいたことは、誠に光栄なことと感じております。

昨年5月ごろからハイナン農協の指導の下、肥培管理を進めてまいりました。ご指定以来、営農指導員、丸三茶農業協同組合、手揉み保存会他、各関係機関の皆さまには、ご指導ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。大変厳しい茶業界になりましたが、静岡牧之原茶の名に恥じぬよう、地域の皆さまと協力し合ってお茶づくりに努めてまいりたいと思います。



この度、献上茶謹製事業の指定園に選定いただいたことは、誠に光栄な事と感じております。

献上茶園に指定をいただいた時より、牧之原市、ハイナン農協などの協力のもと、肥培管理を進めてまいりました。

お茶の育成については、昨今の異常気象、特に温暖化が心配されましたが、育成も順調に進み、良質な生葉が提供できたことに安堵しております。

私の茶業人生において、記念すべき年になりましたことを感謝申し上げます。



問い合わせ お茶振興課 増田 ☎32621

令和になり初めて摘み取ったお茶を皇室へ献上する「献上茶謹製事業」が、14年ぶりに本市で実施されました。この事業は、全国的にお茶離れが進行する中、伝統あるお茶づくりの継承や、市の基幹作物であるお茶の魅力を広げPRすることなどを目的として実施したものです。記念式典などについては、新型コロナウイルス感染症予防対策として、規模を縮小しての開催となりました。

皇室向けの献上茶の生葉は、4月10日に、市内の指定園主3人が各茶園で丹精込めて栽培した「やぶきた」「さえみどり」「つゆひかり」の新芽を一芯二葉で丁寧に手摘みしたもので、合計40キログラムを収穫しました。

翌11日には、片浜区にある献上茶指定茶園で、謹製記念式典を開催。その後、相良総合センターいっくらへ移動し、手揉み式典および茶詰め式典を行いました。手揉み式典では、県内の茶



手揉み保存会会員約40人が、10台の焔炉を使い、約5時間かけて献上茶に仕上げました。仕上げた献上茶は、茶詰め式にて茶筒に詰められました。

この献上茶は、宮内庁に持参する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で郵送に変更。5月20日に、桐箱へ収められた献上茶を発送しました。



献上茶謹製事業式典の様子と静岡牧之原茶の紹介動画をYouTubeでご覧いただけます。



献上茶謹製事業式典の様子はコチラ



静岡牧之原茶の紹介はコチラ